

1 学習のねらい

<p>学習のねらい</p>	<p>地理的分野 ○あらゆる社会的事象に関心を持てるようにする。 ○広い視野に立ち、地理的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○資料・地図を適切に活用する力を養う。 ○日本の国土や世界の国々に対する理解を深める。</p>	<p>歴史的分野 ○歴史とは人が作りだしたものであり、身近なものとして関心を持てるようにする。 ○広い視野に立ち、歴史的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○史料を適切に読み、考察する力を養う。 ○日本・世界の歴史に対する理解を深める。</p>
<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学生の地理 (帝国書院)、 地図帳 中学校社会科地図 (帝国書院) 積み上げ 地理1 (明治図書)</p>	<p>教科書 中学社会 歴史 (教育出版) 積み上げ 歴史1 (明治図書) ビジュアル歴史 (とうほう)</p>

2 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
<p>①社会科的事象への関心・意欲・態度</p>	<p>・日本や世界の地理的事象、歴史的事象に対する関心を持ち、身近なものとして捉え、意欲的に学習に取り組めるか。</p>	<p>・授業への取り組み (忘れ物) ・発表 ・振り返りシート ・提出物 ・ノート ・自己評価表</p>
<p>②社会的な思考・判断</p>	<p>・広い視野に立ち、諸事象を多面的・多角的に考察することができるか。 ・日本や世界の諸地域を比較し、共通性や特殊性を理解することができるか。</p>	<p>・課題レポート ・ノート ・夏休みの課題研究 ・定期テストの思考・判断の項目 ・発表</p>
<p>③資料活用の技能・表現</p>	<p>・資料の中から必要な情報を適切に選択し、それらを活用することができるか。 ・資料の読み取りから、適切な判断をして、考察した結果を、レポートなどにまとめたり、発表したりすることができるか。</p>	<p>・夏休みの課題研究 ・課題レポート ・地図、資 (史) 料、グラフ等の活用の様子 ・プリント学習の作業の様子 ・定期テストの資料活用の項目</p>
<p>④社会的事象についての知識・理解</p>	<p>・地理的・歴史的事象に関する基礎的な知識を身に付けているか。 ・上記より更に深い知識を身に付けているか。</p>	<p>・小テスト ・定期テストの知識・理解の項目</p>

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	<p>地理的分野</p> <p>第1部 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿</p> <p>地球、大陸と海洋</p> <p>世界の国の名前や位置</p> <p>緯度と経度</p> <p>地球儀と世界地図、略地図</p> <p>第2章 世界各地の人々の生活と環境</p> <p>環境による生活の違い</p> <p>食文化や宗教</p> <p>第2部 日本のさまざまな地域</p> <p>第4章 身近な地域の調査</p> <p>地域を調べるテーマ、方法</p> <p>地図の見方</p> <p>第1部 世界のさまざまな地域</p> <p>アジア州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を高め、意欲的に追究することができる。【関】 ・地球儀と世界地図の違いとその適切な利用方法について考察することができる。【思】 ・地球儀や地図の基礎的な活用の仕方を身につけている。【資】 ・世界の地域構成に関する基礎的な知識を身につけている。【知】 ・世界各地の生活や食文化などの違いに関心をもち、意欲的に追求できる。【関】 ・世界各地の人々の生活を、気候などの環境の違いと関連付けながら考察することができる。【思】 ・写真やグラフなどの資料を活用し、まとめることができる。【資】 ・世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。【知】 ・日本の地域構成に関する基礎的な知識を身につけている。【知】 ・身近な地域に対する関心をもち意欲的に取り組んでいる。【関】 ・地形図から必要な情報を読み取ることができる。【思】【知】 ・資料を選択し、活用し、まとめることができる。【資】
二 学 期	<p>第1部 世界のさまざまな地域</p> <p>第3章 世界の諸地域</p> <p>ヨーロッパ州</p> <p>アフリカ州</p> <p>北アメリカ州</p> <p>歴史的分野</p> <p>第1章 歴史のとらえ方</p> <p>第2章 古代までの日本</p> <p>1. 文明のおこりと日本の成り立ち</p> <p>2. 古代国家のあゆみと、東アジア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各地域で暮らす人々の生活の様子に関心をもち、意欲を持って取り組んでいる。【関】 ・単元ごとに設定したテーマについて、人々の生活の様子と、その地域の自然や社会的要因、歴史などと関連付け、考察できる。【思】 ・各種の資料を活用し、各地域の特徴や課題などをまとめることができる。【資】 ・自分の関心を持ったテーマについて資料を集め、まとめることができる。【資】 ・それぞれの地域の地域的特色を理解することができる。【知】 ・古代の歴史の流れや地域の歴史に対する関心をもち、意欲的に取り組むことができる。【関】 ・人類の起こりから古代国家の形成に至る過程に関する課題を、資料や史料を活用しながら見つけることができる。【思】 ・各時代の文化の特色について、史料から読み取ることができる。【資】 ・人類の誕生から平安時代までの基本的な知識を身につけている。【知】
三 学 期	<p>第3章 中世の日本</p> <p>1. 武士の台頭と鎌倉幕府</p> <p>2. 東アジア世界とのかかわりと</p> <p>社会の変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・武家政治や民衆の成長を背景とした社会や文化について関心をもち、意欲を持って取り組んでいる。【関】 ・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まる中で発生した様々な課題について考察できる。【思】 ・武家支配の広まりとともに密接になってゆく、東アジア世界とのかかわりについて考察することができる。【思】

	<ul style="list-style-type: none"> ・農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的な仕組みの成立について、考察できる。【思】 ・鎌倉幕府の成立，南北朝の争乱と室町幕府，応仁の乱後の社会的な変動などを通して，武家政治の成長過程を、さまざまな資料を通して考察できる。【資】 ・中世日本の社会や文化について基本的な知識を身につけている。【知】
--	---

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・授業を集中して受け、人の話をきちんと聞こう。わからないことは質問しよう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことはノートに工夫してまとめよう。 ・資料や地図、グラフを見てわかったことや、自分の考えを積極的に発表しよう。 ・ワーク等の提出物は期日を守ろう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したところはワーク等で確認しよう。定期テスト前に繰り返し復習しよう。 ・わからないところやさらに深く知りたいところは、資料集・教科書などを使って調べよう。 ・社会的なものを含むテレビや新聞、本などで、社会に関する関心を深めよう。